

## 東日本鉄道OB会

会員の皆さまへ

ご挨拶  
会長就任の



5月に東日本鉄道OB会 会長を仰せつかりました。

これまでに、多くの会員・役員の皆さまとお会いし、継続して取り組まれている活動状況をご教示いただいたり、また、熱い抱負や偽らざる悩みもお聞きしました。そのことを通じて、鉄道OB会を取り巻く環境は厳しいものがあり、多くの課題を抱えていることも実感しました。

今後、皆さまと率直な意見交換をしつつ、一歩ずつ前進し、また、課題の解消に努めていきたいとの思いを強くしたところです。

このたび会長をお引き受けした訳ですが、今後の自らの行動を律する上でも、改めて、OB会という組織の存在意義や使命、その会員であることの意味を再認識する必要性に迫られました。「原点確認」の手続きと言えば少々大袈裟ですが、その際に思い出したのが、10数年前に自ら記したある挨拶文です。誠におこがましいことを十分承知した上で、あえて引用させていただきます。

【2011年1月発行『JROBひがし』第18号

常務取締役・田浦芳孝

「東日本鉄道OB会の皆さまへ」】

「(前略) 今回ご挨拶の機会を与えられた本誌

『JROBひがし』も第18号とのこと、感慨深いものがあります。というのは、本誌第1号発刊の頃、私自身が本社総務部長の任にあり、まさに発行責任者を務めていたからです。

当時、鉄道OB会では組織のあり方が議論されていました。国鉄改革から10数年が経過し、JR各社がそれぞれ真剣に経営課題に対処するうちに、当然のことながら各社ごとの個別の事情が次第に拡大しつつありました。そうした中、全国統一組織であった鉄道OB会も、中央に連合機能を残すものの、各旅客JRのエリアごとに再編すべしという機運が高まり、2005年4月に現在のエリア別組織が発足したのです。

総務部でOB会の窓口業務も担当していたため、東日本関係のOB会役員の方々と何度も意見交換をして、新OB会が会員にその良さを認識していただける組織となるよう、JR東日本としても何かお手伝いしたいとの思いで始めたものの一つが、この『JROBひがし』だったのです。

私はその後、仙台支社に移り、昨年6月までの4年間、鉄道OB会仙台地方本部の皆さまにお付き合いいただきました。東北の多くの先輩鉄道人と、ある時は国鉄改革の思い出を語り合い、ある時は部下・後輩指導の要諦をお聞きし、また植樹式や観光キャンペーンに際し強力な応援を賜りました。この経験により確信したことは、(恥ずかしながら、以前に十分理解がなかったのですが、)我々JRに対する外部や地域からの評価は決して現役集団にだけ寄せられている訳ではないということでした。

今日、JR東日本グループはおおむね高いご評価をいただいていると自負しておりますが、そ

れは、現役中心の日々の事業活動等ばかりでなく、現役に倍する人数を擁し、今も鉄道を愛して止まない強面<sup>こわもて</sup>の先輩たちが後輩を熱く見守り、不正を嫌い、筋を通させ、納得したら徹底的に応援する、そのような、この国ですでに稀有の人間集団が維持されている事実に対する総合評価に違いがない、と気付いたのです。

鉄道を志した人生は、現役時代はもちろん、辞めた後の人生最後の日まで、家族・仲間とともに豊かで誇らしいものでありたい、そのために役立つ「鉄道OB会」にしたい、そういう多くの先輩諸氏の思いが確実に結実しつつあります。この

「JROBひがし」が、その願いを乗せ、現役との好連携・好循環をもたらす一助たり続けることを、過去の経緯を知る者として心より祈っています。」

当時は、現役側としての挨拶でしたが、鉄道OB会の位置付けについて、(会員数こそ、大きく減少しましたが、) 今日においてもその本質は不変と考えます。今後は、OB会側の実践者として、志高く行動して参る決意を新たにしています。

東日本鉄道OB会 会長 田浦芳孝

## 盛岡地方本部

### 地域と駅の連携強化へ

#### 前潟駅名誉駅長に辞令を交付



7月28日、JR東日本盛岡支社が田沢湖線前潟駅の名誉駅長に藤田芳夫さんを任命し、委嘱状の交付式を執り行いました。同支社の嶋田企画総務部長より藤田さんへ委嘱状と駅長の制帽が手渡されました。藤田名誉駅長は今後、前潟駅を拠点に地元住民の皆さまと交流を深めながら、駅の魅力向上や利用促進に向けたさまざまな活動を展開していく予定です。

今回の就任により、当地方本部での名誉駅長は合計で10名となりました。

## 秋田地方本部

### OB会とJR東日本社員との交流を深める

#### ボウリングレク交流会を開催



JR東日本社員の皆さんとOB会員が交流を深め、将来にわたるJR東日本の発展とOB会のさらなる活性化を目的に、6月7日、JR東日本秋田支社、秋田統括センター、OB会秋田支部、同本荘支部が合同でボウリングレク交流会を開催しました。29名が参加し、ゲーム終了後は場所を変えて意見交換会で親睦を深めました。今回の交流を機に、次回は羽越線列車事故慰霊碑の清掃奉仕と慰霊法要を行うこととなりました。